

インストールガイド

Borland VisiBroker[®] 7.0

Borland[®]
Excellence Endures™

Borland Software Corporation
20450 Stevens Creek Blvd., Suite 800
Cupertino, CA 95014 USA
www.borland.com

ライセンス規定および限定付き保証にしたがって配布が可能なファイルについては、[deploy.html](#) ファイルを参照してください。

Borland Software Corporation は、本書に記載されているアプリケーションに対する特許を取得または申請している場合があります。該当する特許のリストについては、製品 CD または [バージョン情報] ダイアログボックスをご覧ください。本書の提供は、これらの特許に関する権利を付与することを意味するものではありません。

Copyright 1992-2006 Borland Software Corporation. All rights reserved. すべての Borland のブランド名および製品名は、米国およびその他の国における Borland Software Corporation の商標または登録商標です。その他のブランドまたは製品名は、その著作権所有者の商標または登録商標です。

Microsoft、.NET ログおよび Visual Studio は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

サードパーティの条項と免責事項については、製品 CD に収録されているリリースノートを参照してください。

2006 年 5 月 11 日初版発行

著者：Borland Software Corporation

発行：ボーランド株式会社

PDF

目次

第 1 章			
Borland VisiBroker の概要	1	Solaris への VisiBroker の	
VisiBroker の概要	1	インストール	17
VisiBroker の機能	2	インストールの準備	17
VisiBroker のマニュアル	2	JDK	18
スタンドアロンヘルプビューアからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス	3	Solaris への VisiBroker CD のマウント	18
VisiBroker コンソールからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス	3	Borland VisiBroker のインストール	18
マニュアルの表記規則	4	インストールログ	21
プラットフォームの表記	4	製品マニュアル	21
Borland サポートへの連絡	4	GUI を使用しないインストーラの実行	21
オンラインリソース	5	VisiBroker for C++ サーバー, VisiTransact, または VisiNotify ライセンス変数の設定	22
Web サイト	5	Borland product registration wizard	22
Borland ニュースグループ	5	ダイレクト登録	23
		電子メール登録	23
		Web ページ登録	23
		電話登録	24
		Borland VisiBroker のアンインストール	24
第 2 章		第 5 章	
インストールプラン	7	自動インストールによる VisiBroker のインストール (Windows と Solaris)	25
パッケージの内容	7	自動インストールの概要	25
システム必要条件	7	自動インストールの準備	25
JDK	8	必要なディスクスペース	26
必要なディスクスペース	8	JDK	26
ライセンス	8	自動インストールの使用	26
次の作業	8	Windows での自動インストールの起動	26
		Solaris での自動インストールの起動	27
第 3 章		自動インストールに使用するプロパティファイル	27
Windows への VisiBroker のインストール	9	Windows 用の自動インストールプロパティのサンプル	28
インストールの準備	9	Solaris 用の自動インストールプロパティのサンプル	29
JDK	10		
Borland VisiBroker のインストール	10	索引	31
インストールログ	12		
製品マニュアル	12		
VisiBroker for C++ サーバー, VisiTransact, または VisiNotify ライセンス変数の設定	12		
Borland product registration wizard	13		
ダイレクト登録	13		
電子メール登録	14		
Web ページ登録	14		
電話登録	14		
Borland VisiBroker のアンインストール	15		

第 1 章

Borland VisiBroker の概要

Borland は、CORBA 開発者に向けて、業界最先端の VisiBroker オブジェクトリクエストブローカー (ORB) を活用するために *VisiBroker for Java*, *VisiBroker for C++*, および *VisiBroker for .NET* を提供しています。この 3 つの VisiBroker は CORBA 2.6 仕様の実装です。

VisiBroker の概要

VisiBroker は、CORBA が Java オブジェクトと Java 以外のオブジェクトの間でやり取りする必要がある分散配布で使用されます。幅広いプラットフォーム (ハードウェア, オペレーティングシステム, コンパイラ, および JDK) で使用できます。VisiBroker は、異種環境の分散システムに関連して一般に発生するすべての問題を解決します。

VisiBroker は次のコンポーネントからなります。

- VisiBroker for Java, VisiBroker for C++, および VisiBroker for .NET (業界最先端のオブジェクトリクエストブローカーの 3 つの実装)。
- VisiNaming Service - Interoperable Naming Specification バージョン 1.3 の完全な実装。
- GateKeeper - ファイアウォールの背後の CORBA サーバーとの接続を管理するプロキシサーバー。
- VisiBroker Console - CORBA 環境を簡単に管理できる GUI ツール。
- コモンオブジェクトサービス - VisiNotify (通知サービス仕様の実装), VisiTransact (トランザクションサービス仕様の実装), VisiTelcoLog (Telecom ログサービス仕様の実装), VisiTime (タイムサービス仕様の実装), VisiSecure など。

VisiBroker の機能

VisiBroker には次の機能があります。

- セキュリティと Web 接続性を容易に装備できます。
- J2EE プラットフォームにシームレスに統合できます (CORBA クライアントが EJB に直接アクセスできる)。
- 堅牢なネーミングサービス (VisiNaming) とキャッシュ、永続的ストレージ、および複製によって高可用性を実現します。
- プライマリサーバーにアクセスできない場合に、クライアントをバックアップサーバーに自動的にフェイルオーバーします。
- CORBA サーバークラスタ内で負荷分散を行います。
- OMG CORBA 2.6 仕様に完全に準拠します。
- Borland JBuilder 統合開発環境と統合されます。
- Borland AppServer などの他の Borland 製品と最適に統合されます。

VisiBroker のマニュアル

VisiBroker のマニュアルセットは次のマニュアルで構成されています。

- *Borland VisiBroker インストールガイド*— VisiBroker をネットワークにインストールする方法について説明します。このマニュアルは、Windows または UNIX オペレーティングシステムに精通しているシステム管理者を対象としています。
- *Borland VisiBroker セキュリティガイド*— VisiSecure for VisiBroker for Java および VisiBroker for C++ など、VisiBroker のセキュリティを確保するための Borland のフレームワークについて説明しています。
- *Borland VisiBroker for Java 開発者ガイド*— Java による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。Visibroker ORB の設定と管理、およびプログラミングツールの使用方法について説明します。また、IDL コンパイラ、スマートエージェント、ロケーションサービス、ネーミングサービス、イベントサービス、オブジェクトアクティベーションデーモン (OAD)、Quality of Service (QoS)、インターフェースリポジトリ、および Web サービスサポートについても説明します。
- *Borland VisiBroker for C++ 開発者ガイド*— C++ による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。Visibroker ORB の設定と管理、およびプログラミングツールの使用方法について説明します。また、IDL コンパイラ、スマートエージェント、ロケーションサービス、ネーミングサービス、イベントサービス、OAD、QoS、プラグイン可能トランスポートインターフェース、RT CORBA 拡張機能、Web サービスサポート、およびインターフェースリポジトリについても説明します。
- *Borland VisiBroker for .NET 開発者ガイド*— .NET 環境による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。
- *Borland VisiBroker for C++ API リファレンス*— VisiBroker for C++ に付属するクラスとインターフェースについて説明します。
- *Borland VisiBroker VisiTime ガイド*— Borland による OMG Time Service 仕様の実装について説明します。
- *Borland VisiBroker VisiNotify ガイド*— Borland による OMG 通知サービス仕様の実装について説明します。通知メッセージフレームワークの主な機能として、特に Quality of Service (QoS) のプロパティ、フィルタリング、および Publish/Subscribe Adapter (PSA) の使用方法が記載されています。

- *Borland VisiBroker VisiTransact ガイド* — Borland による OMG Object Transaction Service 仕様の実装および Borland Integrated Transaction Service コンポーネントについて説明します。
- *Borland VisiBroker VisiTelcoLog ガイド* — Borland による OMG Telecom Log Service 仕様の実装について説明します。
- *Borland VisiBroker GateKeeper ガイド* — Web ブラウザやファイアウォールによるセキュリティ制約の下で、VisiBroker GateKeeper を使用して、VisiBroker のクライアントがネットワークを介してサーバーとの通信を確立する方法について説明します。

通常、マニュアルにアクセスするには、VisiBroker とともにインストールされるヘルプビューアを使用します。ヘルプは、スタンドアロンのヘルプビューアからアクセスすることも、VisiBroker コンソールからアクセスすることもできます。どちらの場合も、ヘルプビューアを起動すると独立したウィンドウが表示されるため、このウィンドウからヘルプビューアのメインツールバーにアクセスしてナビゲーションや印刷を行ったり、ナビゲーションペインにアクセスすることができます。ヘルプビューアのナビゲーションペインには、すべての VisiBroker ブックとリファレンス文書の目次、完全なインデックス、および包括的な検索を実行できるページがあります。

重要 Web サイト <http://www.borland.com/techpubs> には、PDF 版のマニュアルと最新の製品マニュアルがあります。

スタンドアロンヘルプビューアからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス

製品がインストールされているコンピュータでスタンドアロンのヘルプビューアからオンラインヘルプにアクセスするには、次のいずれかの手順を実行します。

- | | |
|----------------|---|
| Windows | <ul style="list-style-type: none"> • [スタート プログラム Borland VisiBroker Help Topics] の順に選択します。 • または、コマンドプロンプトを開き、製品のインストールディレクトリの <code>%bin</code> ディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。
<code>help</code> |
| UNIX | <p>コマンドシェルを開き、製品のインストールディレクトリの <code>/bin</code> ディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。
<code>help</code></p> |
| ヒント | <p>UNIX システムにインストールするときの指定で、PATH エントリのデフォルトに <code>bin</code> を含まないようにします。カスタムインストールオプションを選択して PATH エントリのデフォルトを変更せず、PATH に現在のディレクトリのエントリがない場合は、<code>./help</code> を使用してヘルプビューアを起動できます。</p> |

VisiBroker コンソールからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス

VisiBroker コンソールから VisiBroker オンラインヘルプトピックにアクセスするには、[Help | Help Topics] を選択します。

[Help] メニューには、オンラインヘルプ内のいくつかの文書へのショートカットもあります。ショートカットの 1 つを選択すると、ヘルプトピックビューアが起動し、[Help] メニューで選択した項目が表示されます。

マニュアルの表記規則

VisiBroker のマニュアルでは、文中の特定の部分を表すために、次の表に示す書体と記号を使用します。

表 1.1 マニュアルの表記規則

表記規則	用途
<i>italic</i>	新規の用語およびマニュアル名に使用されます。
computer	ユーザーやアプリケーションが提供する情報、サンプルコマンドライン、およびコードです。
bold computer	本文では、ユーザーが入力する情報を示します。サンプルコードでは、重要なステートメントを強調表示します。
[]	省略可能な項目。
...	繰り返しが可能な直前の引数。
	二者択一の選択。

プラットフォームの表記

VisiBroker マニュアルでは、次の記号を使用してプラットフォーム固有の情報を示します。

表 1.2 プラットフォームの表記

記号	意味
Windows	サポートされているすべての Windows プラットフォーム
Win2003	Windows 2003 のみ
WinXP	Windows XP のみ
Win2000	Windows 2000 のみ
UNIX	すべての UNIX プラットフォーム
Solaris	Solaris のみ
Linux	Linux のみ

Borland サポートへの連絡

ボーランド社は各種のサポートオプションを用意しています。それらにはインターネット上の無償サービスが含まれており、大規模な情報ベースを検索したり、他の **Borland** 製品ユーザーからの情報を得ることができます。さらに **Borland** 製品のインストールに関するサポートから有償のコンサルタントレベルのサポートおよび高レベルなアシスタンスに至るまでの複数のカテゴリから、電話サポートの種類を選択できます。

Borland のサポートサービスの詳細や **Borland** テクニカルサポートへの問い合わせについては、Web サイト <http://support.borland.com> で地域を選択してください。

ボーランド社のサポートへの連絡にあたっては、次の情報を用意してください。

- 名前
- 会社名およびサイト ID
- 電話番号
- ユーザー ID 番号 (米国のみ)
- オペレーティングシステムおよびバージョン
- **Borland** 製品名およびバージョン
- 適用済みのパッチまたはサービスパック
- クライアントの言語とそのバージョン (使用している場合)
- データベースとそのバージョン (使用している場合)

- 発生した問題の詳細な内容と経緯
- 問題を示すログファイル
- 発生したエラーメッセージまたは例外の詳細な内容

オンラインリソース

ネットワーク上の次のサイトから情報を得ることができます。

Web サイト	http://www.borland.com/jp/
オンラインサポート	http://support.borland.com (ユーザー ID が必要)
リストサーバー	電子ニュースレター (英文) を購読する場合は、次のサイトに用意されているオンライン書式を使用してください。 http://www.borland.com/products/newsletters

Web サイト

定期的に <http://www.borland.com/jp/products/visibroker/index.html> をチェックしてください。**VisiBroker** 製品チームによるホワイトペーパー、競合製品の分析、FAQ の回答、サンプルアプリケーション、最新ソフトウェア、最新のマニュアル、および新旧製品に関する情報が掲載されます。

特に、次の URL をチェックすることをお勧めします。

- http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html (最新の **VisiBroker** ソフトウェアおよび他のファイル)
- <http://www.borland.com/techpubs> (マニュアルの更新および PDF)
- <http://info.borland.com/devsupport/bdp/faq/> (**VisiBroker** の FAQ)
- <http://community.borland.com> (英語、開発者向けの弊社 Web ベースニュースマガジン)

Borland ニュースグループ

Borland VisiBroker を対象とした数多くのニュースグループに参加できます。**VisiBroker** などの **Borland** 製品のユーザーによるニュースグループへの参加については、<http://www.borland.com/newsgroups> を参照してください。

メモ これらのニュースグループはユーザーによって管理されているものであり、ボーランド社の公式サイトではありません。

第 2 章

インストールプラン

このガイドでは、Windows および UNIX で Borland VisiBroker をインストールするために必要なタスクとインストールに関連するタスクについて説明します。

推奨事項：

- 通常、VisiBroker は、広範囲で共有されている UNIX または Windows コンピュータにインストールされます。
- 製品マニュアル（オンラインヘルプトピック）やサンプルのインストールはオプションですが、両方インストールすることをお勧めします。

パッケージの内容

パッケージには、Borland VisiBroker CD および製品マニュアルが含まれます。パッケージには、Borland VisiBroker に付属する追加の製品 CD が含まれている場合もあります。

メモ Borland のソフトウェアは、Borland の次の Web サイトからダウンロードすることもできます。
http://www.borland.com/downloads/download_visibroker.html

システム必要条件

Borland VisiBroker がサポートするプラットフォームの最新情報や JDK の必要条件については、Borland Web サイト (<http://www.borland.com/techpubs/visibroker/platforms>) を参照してください。

プラットフォーム固有の必要条件に加えて、Borland VisiBroker コンポーネントは、TCP および UDP によるブロードキャストサービスを必要とします。これらのコンポーネントを単一コンピュータで実行する場合でも、TCP および UDP サービスが有効になっている必要があります。

JDK

インストーラは、Windows プラットフォームには JDK バージョン 1.4.2、UNIX プラットフォームには JDK 1.4.2 をインストールします。Borland VisiBroker のインフラストラクチャとツールは、JDK 1.4.2 を使用します。

必要なディスクスペース

必要なディスクスペースについては、<http://www.borland.com/techpubs/visibroker/platforms> を参照してください。

重要 必要なディスクスペースは、次の要素に依存します。

- オペレーティングシステム
- JDK

ライセンス

Borland VisiBroker のライセンスには、次の 2 種類があります。

- **ノードライセンス。**このライセンスは、ライセンスが適用およびアクティブ化されるシステムに固定化されます。このライセンスを別のシステムにコピーすることはできません。また、別のシステムで実行されている VisiBroker 製品からこのライセンスにアクセスすることもできません。同じシステムにソフトウェアを再インストールした場合は、ライセンスを再度アクティブ化する必要があります。
- **ネットワークライセンス。**このライセンスでは、ライセンスサーバーを使用する必要があります。VisiBroker は、Belise (Borland のライセンスサーバー) の使用をサポートします。ネットワークライセンスのアクティブ化と使用については、Borland から送信される電子メールに記載されている手順を参照してください。

製品を使用する前に、VisiBroker ノードライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ノードライセンスを適用するには、次の条件が必要です。

- **ライセンスごとの Serial Number と Key, またはアクティベーションファイル。**これらは Borland から電子メールで送信されます。
- **Borland Developer Network (BDN) のアカウント。**アカウントがない場合は、登録/使用許諾プロセス時に作成できます (第 3 章「Windows への VisiBroker のインストール」と第 4 章「Solaris への VisiBroker のインストール」を参照)。
- **インターネットアクセス。**ライセンスをアクティブ化する方法としてダイレクト登録または Web ページ登録を使用する場合は、インターネットアクセスが必要です。登録は任意のシステムから実行できます。製品をインストールしたシステムである必要はありません。

リモートシステムにライセンスを適用する場合は、そのシステムに Telnet でアクセスし、アクティベーションファイルをシステムに (FTP で) コピーする必要があります。

次の作業

ネットワークインストールのプランを作成したら、VisiBroker をインストールできます。Windows にインストールする場合は、第 3 章「Windows への VisiBroker のインストール」を参照してください。UNIX にインストールする場合は、第 4 章「Solaris への VisiBroker のインストール」を参照してください。

第 3 章

Windows への VisiBroker のインストール

ここでは、Borland VisiBroker と関連コンポーネントを Windows にインストールする方法について説明します。Solaris にインストールする場合は、第 4 章「Solaris への VisiBroker のインストール」を参照してください。

- メモ VisiBroker の以前のバージョンがある場合は、これをアンインストールするか、新しいバージョンを別のインストールパスで別の場所にインストールすることをお勧めします。
- メモ 評価バージョンをインストールした後で、VisiBroker を永続使用するためのライセンスを購入した場合、評価したソフトウェアを再インストールする必要はありません。License Manager (管理コンソールの [Tools] メニューから起動) を使用すると、評価ライセンスを削除し、次に新しい永続ライセンスを追加してアクティブ化できます。新しいライセンスのアクティブ化については、13 ページの「Borland product registration wizard」を参照してください。

インストールの準備

VisiBroker は、CD からインストールするか、Borland Web サイト (http://www.borland.com/downloads/download_visibroker.html) からダウンロードしてインストールできます。

VisiBroker をインストールする前に、次の操作を行います。

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 インストール方法を選択します。
 - Borland Web サイトからインストールする場合は、http://www.borland.com/downloads/download_visibroker.html にアクセスします。
 - CD からインストールする場合は、CO-ROM ドライブに CD を挿入します。
 - プロパティファイルの定義を使用して自動インストールを実行する場合は、第 5 章「自動インストールによる VisiBroker のインストール (Windows と Solaris)」を参照してください。

JDK

インストーラによって JDK バージョン 1.4.2 および 1.5.0 が Windows にインストールされます。VisiBroker のインフラストラクチャとツールは、JDK 1.4.2 を使用します。

Borland VisiBroker のインストール

次の手順で、VisiBroker と関連コンポーネントをインストールします。

- 1 VisiBroker のインストーラを Web からダウンロードするか、CD からインストールします。CD からのインストールでは、システムで autorun が有効になっている場合、CD-ROM ドライブに CD を挿入すると、インストーラが自動的に起動します。Web からダウンロードした VisiBroker インストーラをインストールする場合は、ダウンロードした実行可能ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。

画面に表示される指示にしたがいます。ほとんどのオプションについては、インストーラウィザードから提供されるデフォルトをそのまま使用できます。[Previous] ボタンを使用すると、前の画面に戻って情報を変更できます。

- 2 インストールする Borland VisiBroker 製品を選択します。

重要 インストールする製品を選択して [Next] をクリックした後で、別の製品を選択するには、現在のインストールをキャンセルし、インストールプロセスを再開する必要があります。

- **Install Borland VisiBroker 7.0 -VisiBroker Java / C++ Core**, 開発ツール, 管理ツール, および **VisiBroker Extended Services** (オプション) をインストールします。

- 3 **使用許諾契約 - VisiBroker** をインストールおよび使用するには、ライセンス使用許諾契約に同意する必要があります。

- 4 **インストールフォルダの選択** - 新しい VisiBroker のインストールを作成するか、既存の 6.5 インストールにコンポーネントを追加します。デフォルト (C:\Borland\VisiBroker) を受け入れるか、別の場所を選択します。

重要 このバージョンの VisiBroker を以前のリリースに上書きしてインストールすることはできません。

- 5 **製品コンポーネントの選択** - インストールする Borland VisiBroker 製品に合わせて、次の機能に応じた製品コンポーネントを選択します。

- **VisiBroker Console** - VisiBroker ORB とサービスを管理するための GUI とツール。
- **VisiBroker Core** - VisiBroker for Java and C++ 開発ツールとサーバーコンポーネント。
- **Documentation** - オンラインマニュアル一式。
- **Examples** - Borland Enterprise Server のサンプルアプリケーション。
- **VisiBroker Services** - VisiBroker の拡張機能として購入するオプションのコンポーネント。

- 6 **Choose VisiBroker Services** - 購入した VisiBroker Extended Services のインストールを選択した場合は、次の Extended Services を選択します。

- **VisiNotify** - OMG イベント/通知サービスの ORB レベルの高機能インプリメンテーション。
- **VisiSecure** - クライアントとサーバーの間にセキュリティで保護された接続を確立するためのフレームワーク。

- **VisiTime** - OMG Time Service 仕様バージョン 1.1 の完全なインプリメンテーション。
- **VisiTransact** - インターネットやイントラネットで CORBA アプリケーションとやり取りするための OMG トランザクション管理ソリューションの完全なインプリメンテーション。
- **VisiTelcoLog** - OMG Telecom Log Service 仕様バージョン 1.1.2 の OMG 準拠のインプリメンテーション。

7 Choose Install Type - [Typical/Custom] パネル

a Typical - デフォルトの設定を使用する簡易インストールです。

この標準インストールには、次のデフォルトの設定が含まれています。

- スマートエージェントポート。osagent と呼ばれます。このポートは、ORB がサーバーと通信する場合に使用します。デフォルトは 14000 です。
- **VisiBroker** の bin ディレクトリを PATH 変数に追加。標準インストールでは、**VisiBroker** の bin フォルダが PATH に追加されません。追加するには、[Custom] インストールタイプを選択します。

メモ

デフォルトを選択する場合は、いくつかのコンポーネントを手動で環境パスに追加する必要があります。

- **VisiBroker** の環境変数を追加。標準インストールでは、**VisiBroker** の環境変数がシステム環境に追加されません。カスタムインストールタイプを選択して **VisiBroker** の環境変数を追加すると、BES_LIC_DIR には <install_dir>%var が設定され、BES_LIC_DEFAULT_DIR には <install_dir>%license が設定されます。

b Custom - このオプションを選択すると、次のインストールオプションを設定できます。

- デフォルト以外のスマートエージェントポート/エージェント名を指定。
- bin ディレクトリを PATH に含める。デフォルトは [No] です。ディレクトリを PATH に追加するには、[Yes] を選択します。
- **VisiBroker** の環境変数を含める。デフォルトは [No] です。システム環境に **VisiBroker** の環境変数を追加するには、[Yes] を選択します。BES_LIC_DIR には <install_dir>%var が設定され、BES_LIC_DEFAULT_DIR には <install_dir>%license が設定されます。

8 Pre-Installation Summary - インストールを開始する前に、表示される情報を確認します。

9 選択内容を承認してインストールを開始するには、[Install] ボタンをクリックします。

10 Registration

- インストーラを終了する前に **Borland product registration wizard** を起動するには、[Yes] (デフォルト) を選択し、[Next] をクリックします。登録ウィザードが別ウィンドウで起動します (13 ページの「[Borland product registration wizard](#)」を参照)。登録ウィザードを終了すると、Install Complete パネルが表示されます。
- **VisiBroker** の評価バージョンまたは無料バージョンをインストールする場合は、登録ウィザードを起動するかどうかをたずねられません。**VisiBroker** を使用する前に、Borland から電子メールで受け取ったライセンスアクティベーションキーファイルを <install_dir>%license ディレクトリにコピーしてください。ライセンスアクティベーションキーファイルを受け取っていない場合、またはソフトウェアを再インストールする場合は、http://www.borland.com/products/downloads/download_bes.html にアクセスし、新しいライセンスキーをダウンロードしてください。

重要

製品を使用するには、ライセンスを登録してアクティブ化する必要があります。**VisiBroker 7.0** をインストールした同じコンピュータに **VisiBroker (BES)** の以前の

バージョンの有効なノードライセンスがインストールされている場合、そのライセンスを新しくインストールしたソフトウェアで使用するには、`lmadm` コマンドラインツールを使用して以前のライセンスを移行します。**VisiBroker** のライセンスの種類については、[8 ページの「ライセンス」](#)を参照してください。

メモ `<install_dir>%bin` ディレクトリにある `lmadmw` 実行可能ファイルを実行すれば、後でライセンスを登録してアクティブ化できます。

11 インストールの完了後、インストーラを閉じるには、**[Done]** をクリックします。

インストールログ

インストーラによって生成されるインストールログは、インストールディレクトリのルート (**VisiBroker** を CD からインストールした場合) またはインストーラファイルが存在するフォルダ (ダウンロードファイルを使用して **VisiBroker** をインストールした場合) に書き込まれます。

次は、**VisiBroker** のインストールログファイルです。

```
<install_dir>%Borland_Visibroker_InstallLog.xml
```

このファイルは XML 形式のログで、エラーなどのインストールに関する情報が保存されます。

製品マニュアル

Borland VisiBroker の CD には、すべてのオンラインマニュアルのライブラリが収録されています。製品がインストールされているコンピュータでマニュアルにアクセスするには、次のいずれかの手順を実行します。

- コマンドプロンプトで次のコマンドを使用します。

```
help
```

`help` コマンドを使用するには、パスシステム変数に `<install_dir>%bin` ディレクトリが含まれている必要があります。または、パスを明示的に入力します。
- [スタート | プログラム | **Borland VisiBroker** | **Help Topics**] の順に選択します。
- **VisiBroker** コンソールの **[Help]** メニューに移動します。

VisiBroker for C++ サーバー, VisiTransact, または VisiNotify ライセンス変数の設定

VisiBroker for C++ サーバー, **VisiTransact**, または **VisiNotify** を実行する前に、2 つのライセンス環境変数 (`BES_LIC_DIR` と `BES_LIC_DEFAULT_DIR`) を設定する必要があります。インストール中に、これらの環境変数の設定に使用するバッチスクリプトが作成されます。

次の手順で環境変数を設定します。

- 1** コマンドウィンドウを開きます。
- 2** ディレクトリを `<install_dir>%bin` に変更します。
- 3** `vbroker.bat` を実行します。

Borland product registration wizard

VisiBroker を使用する前に、受け取った製品ライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ライセンスは、Borland から、1 つ以上の **Serial Number** と **Key** がリストされた電子メールの形式で送信されるか、ライセンスキーファイルが電子メールで送信されます。

新しくインストールした VisiBroker ソフトウェアと同じコンピュータに VisiBroker (BES) の以前のバージョンの有効なノードライセンスがインストールされている場合、そのライセンスを新しくインストールした VisiBroker ソフトウェアで使用するには、lmadm コマンドラインツールを使用して以前のライセンスを移行します。VisiBroker のライセンスの種類については、[8 ページの「ライセンス」](#)を参照してください。

オンラインで購入した製品または評価のためにダウンロードした製品のキーファイルを Borland から電子メールで受け取った場合、または製品の無料バージョンをダウンロードした場合は、登録ウィザードを使用してキーファイルを適用できます。または、<install_dir>%license ディレクトリにキーファイルをコピーすると、製品を再起動したときに自動的にキーファイルが適用されます。

Serial Number と Key がある場合は、次の登録方法のいずれかを使用して VisiBroker 製品を登録し、アクティブ化できます。

- **Direct** - システムがインターネットに接続されている場合は、最も簡単な方法です。製品登録ウィザードの指示にしたがって必要な手順をすべて実行すると、自動的にライセンスをアクティブ化できます。詳細は、[13 ページの「ダイレクト登録」](#)を参照してください。
- **Email** - 電子メールアカウントを使用して任意のシステムから登録要求を送信すると、アクティベーションファイルが電子メールで送付され、それをインストールに適用できます。詳細は、[14 ページの「電子メール登録」](#)を参照してください。
- **Web page** - Borland Web サイトにアクセスして登録を行う点以外は、電子メールによる登録と同じです。詳細は、[14 ページの「Web ページ登録」](#)を参照してください。
- **Telephone** - Borland の担当者に必要な情報を伝えると、電子メールまたは郵送でアクティベーションファイルが送付されます。詳細は、[14 ページの「電話登録」](#)を参照してください。

選択した方法によっては、Borland Developer Network (BDN) アカウントを持っているかどうかをたずねられる場合があります。アカウントがない場合は、製品登録ウィザードでアカウントを作成するように求められます。

登録方法として [Direct] を選択しなかった場合は、アクティベーションファイルが送付されます。このファイルを <install_dir>%license ディレクトリにコピーすると、製品を起動したときにファイルが自動的に適用されます。

ダイレクト登録

Borland product registration wizard を使用してダイレクト登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で登録方法として [Direct] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 BDN アカウントを持っているかどうかを指定し、[Next] をクリックします。アカウントがない場合は、このウィザードでアカウントを作成するように求められます。
- 3 必要に応じて、インターネット接続のためのプロキシ設定を入力します。
- 4 要約情報を確認し、[Next] をクリックします。ウィザードは、登録の進捗状況を監視して表示します。

- 5 登録が正常に完了したら、[Next] をクリックします。次に [Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。

電子メール登録

Borland product registration wizard を使用して電子メール登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Email] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 BDN アカウントを持っているかどうかを指定し、[Next] をクリックします。アカウントがない場合は、このウィザードでアカウントを作成するように求められます。
- 3 要約情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 4 [Email Registration] 内容ペインの内容を reg@borland.com 宛の電子メールメッセージにコピーし、[Next] をクリックします。
- 5 ウィザードを閉じるには、[Finish] をクリックします。製品アクティベーションファイルが電子メールで送信されます。
- 6 アクティベーションファイルを <install_dir>\license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

Web ページ登録

Borland product registration wizard を使用して Web ページ登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Web page] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 ウィザードの Web 登録ステップに表示される登録キーをコピーし、[Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。
- 3 Web ブラウザを起動し、http://reg.borland.com にアクセスします。
- 4 登録 Web ページで BDN アカウント情報を入力し、[Login] をクリックします。アカウントを持っていない場合は、[Create account] リンク (http://reg.borland.com/srs5/new_user.jsp) をクリックします。
- 5 [Product Registration] Web ページで Serial Number と Key (登録ウィザードからコピーしたもの) を入力し、[Continue] をクリックします。
- 6 アクティベーションファイルを受け取るための電子メールアドレスを確認し、[Register] をクリックします。製品アクティベーションファイルが電子メールで送信されます。
- 7 アクティベーションファイルを <install_dir>\license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

電話登録

Borland product registration wizard を使用して電話登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Telephone] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 ドロップダウンリストから、最も近い場所を選択します。
- 3 [Next] をクリックし、次に [Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。

- 4 電話サポートの番号に電話し、手元の電話登録ウィザードの画面に表示されている情報を伝えます。
- 5 アクティベーションファイルを受け取ったら、それを <install_dir>%license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

Borland VisiBroker のアンインストール

次の手順で、Borland VisiBroker をアンインストールします。

- 1 アンインストール中にバックグラウンドで実行中のプロセス (osagent など) がないことを確認します。
- 2 UninstallerData フォルダを開きます。
- 3 [uninstall] アイコンをダブルクリックします。
- 4 [Uninstall] をクリックして、インストールされているすべてのコンポーネントを完全に削除します。

メモ この作業では、インストール後に作成されたファイルやフォルダは削除されません。

- 5 uninstall プログラムの実行が終了したら、インストールディレクトリの内容を確認し、不要なファイルとサブディレクトリを削除します。

メモ アンインストール後に、ユーザーの「Documents and Settings」フォルダに .bas66 などのファイルやフォルダが残ることがあります。これらのファイルも同様に削除する必要があります。

第 4 章

Solaris への VisiBroker のインストール

ここでは、Borland VisiBroker と関連コンポーネントを Solaris オペレーティングシステムにインストールする方法について説明します。Windows にインストールする場合は、[第 3 章「Windows への VisiBroker のインストール」](#)を参照してください。

- メモ VisiBroker の以前のバージョンがある場合は、これをアンインストールするか、新しいバージョンを別のインストールパスで別の場所にインストールすることをお勧めします。
- メモ 評価バージョンをインストールした後で、VisiBroker を永続使用するためのライセンスを購入した場合、評価したソフトウェアを再インストールする必要はありません。新しいライセンスのアクティブ化については、[22 ページの「Borland product registration wizard」](#)を参照してください。

インストールの準備

VisiBroker は、CD からインストールするか、Borland Web サイト (http://www.borland.com/products/downloads/download_bes.html) からダウンロードしてインストールできます。

VisiBroker をインストールする前に、インストール方法を選択します。

- Borland Web サイトからインストールする場合は、http://www.borland.com/products/downloads/download_bes.html にアクセスします。
- CD からインストールする場合は、Borland VisiBroker CD をマウントしてからインストールを開始します。Solaris については、[18 ページの「Solaris への VisiBroker CD のマウント」](#)を参照してください。
- インストーラの GUI を呼び出さずにコマンドラインからインストールする場合は、[21 ページの「GUI を使用しないインストーラの実行」](#)を参照してください。
- プロパティファイルの定義を使用して自動インストールを実行する場合は、[第 5 章「自動インストールによる VisiBroker のインストール \(Windows と Solaris\)」](#)を参照してください。

JDK

Solaris へのインストール中に、JDK バージョン 5.0 がインストールされます。

Solaris への VisiBroker CD のマウント

Borland VisiBroker の CD には、Solaris オペレーティングシステム向けのインストールソフトウェアが収録されています。ここでは、Solaris に CD から VisiBroker をインストールするための準備について説明します。

次の手順で、CD をローカルワークステーションにマウントします。

1 ワークステーションにログインします。

メモ ボリュームマネージャが実行されていない場合は、ステップ 5 で CD をマウントするために、スーパーユーザー特権が必要です。

2 CD をドライブに挿入します。

3 コマンドシェルを開きます。

4 ボリュームマネージャが実行されているかどうかを判定するには、次のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/ps -ef | grep mountd
```

実行中のすべてのプロセスの一覧から、次のような応答を探します。

```
root 247 1 0 Oct 30?0:00 /usr/lib/autofs/automountd
```

5 ボリュームマネージャが実行されている場合は、[18 ページの「Borland VisiBroker のインストール」](#)に進みます。

6 ボリュームマネージャが実行されていない場合は、[18 ページの「Borland VisiBroker のインストール」](#)に進む前に、ルートに移動し、次のコマンドを入力して CD をマウントしてください。

```
/usr/sbin/mount -F hsfs -r /dev/dsk/device /cdrom
```

ここで、device は CD のデバイス名です。

7 次のコマンドを入力して CD ディレクトリに移動します。

```
cd /cdrom
```

8 VisiBroker のインストール後に CD のマウントを解除するには、ルートに移動し、次のコマンドを入力します。

```
umount /cdrom
```

Borland VisiBroker のインストール

次の手順で、Borland VisiBroker と関連コンポーネントをインストールします。

1 VisiBroker のインストーラを Web からダウンロードするか、CD からインストールします。

- VisiBroker を CD からインストールする場合は、次の手順にしたがいます。

1 適切なコマンドを入力します。

Solaris : `install_solaris`

しばらくすると、CD のスプラッシュ画面が表示されます。

2 強調表示されている製品をクリックします。

別ウィンドウでインストールウィザードが起動します。

- メモ** CD に収録されている **Readme** やインストールマニュアルを表示したり、CD の内容を参照するには、スプラッシュ画面で該当する項目をクリックします。
- ダウンロードファイルから **VisiBroker** を **Solaris** にインストールする場合は、次の手順にしたがいます。
 - 1 インストーラを抽出したディレクトリに移動します。
 - 2 インストールウィザードを起動するには、抽出した **.bin** ファイルを起動します。
 - インストールする **Borland VisiBroker** 製品を選択します。
- 重要** インストールする製品を選択して [次へ] をクリックした後で、別の製品を選択するには、現在のインストールをキャンセルし、インストールプロセスを再開する必要があります。
- VisiBroker.VisiBroker Java / C++ Core**, 開発ツール, 管理ツール, および **VisiBroker Extended Services** (オプション) をインストールします。
- **使用許諾契約 - VisiBroker** をインストールおよび使用するには、ライセンス使用許諾契約に同意する必要があります。
 - **インストールフォルダの選択 - 新しい VisiBroker** のインストールを作成するか、既存の 6.5 インストールにコンポーネントを追加します。
- 重要** このバージョンの **VisiBroker** を以前のリリースに上書きしてインストールすることはできません。
- **製品コンポーネントの選択 - インストールする Borland VisiBroker 製品に合わせて**、次の機能に応じた製品コンポーネントを選択します。
 - **VisiBroker コンソール - VisiBroker ORB** とサービスを管理するための GUI とツール。
 - **VisiBroker コア - VisiBroker for Java and C++** 開発ツールとサーバーコンポーネント。
 - **文書 - オンラインマニュアル一式。**
 - **Examples - Borland VisiBroker** のサンプルアプリケーション。
 - **VisiBroker Extended Services - VisiBroker** の拡張機能として購入するオプションのコンポーネント。
 - **Choose VisiBroker Extended Services - 購入した VisiBroker Extended Services** のインストールを選択した場合は、次の **Extended Services** を選択します。
 - **VisiNotify - OMG イベント/通知サービスの ORB レベルの高機能インプリメンテーション。**
 - **VisiSecure - クライアントとサーバーの間にセキュリティで保護された接続を確立するためのフレームワーク。**
 - **VisiTime - OMG Time Service 仕様バージョン 1.1 の完全なインプリメンテーション。**
 - **VisiTransact - インターネットやイントラネットで CORBA アプリケーションとやり取りするための OMG トランザクション管理ソリューションの完全なインプリメンテーション。**
 - **VisiTelcoLog - OMG Telecom Log Service 仕様バージョン 1.1.2 の OMG 準拠のインプリメンテーション。**
 - **インストールタイプの選択 - [標準/カスタム] パネル**
 - 1 **標準 - デフォルトの設定を使用する簡易インストールです。**
この標準インストールには、次のデフォルトの設定が含まれています。
 - **スマートエージェントポート。** osagent と呼ばれます。このポートは、ORB がサーバーと通信する場合に使用します。デフォルトは 14000 です。

- エージェント名。同じスマートエージェント (osagent) ポートを使用しているエージェントには、一意の名前を指定する必要があります。デフォルトはホスト名です。
- メモ** ポートとして有効な値を入力しないと、インストールを続行できません。
- **VisiBroker** の bin ディレクトリを PATH 変数に追加。標準インストールでは、**VisiBroker** の bin フォルダが PATH に追加されません。追加するには、[カスタム] インストールタイプを選択します。
- メモ** デフォルトを選択する場合は、いくつかのコンポーネントを手動で環境パスに追加する必要があります。
- **VisiBroker** の環境変数を追加。標準インストールでは、**VisiBroker** の環境変数がシステム環境に追加されません。カスタムインストールタイプを選択して **VisiBroker** の環境変数を追加すると、BES_LIC_DIR には <install_dir>/var が設定され、BES_LIC_DEFAULT_DIR には <install_dir>/license が設定されます。
- 2 カスタム** - このオプションを選択すると、次のインストールオプションを設定できます。
- デフォルト以外のスマートエージェントポート/エージェント名を指定。
 - 管理設定サンプルのセットアップ。**VisiBroker** / BDOC 管理設定サンプルをインストールするには、[はい] (デフォルト) を選択します。
- 2 インストールの概要** - インストールを開始する前に、表示される情報を確認します。
- 3 選択内容を承認してインストールを開始するには**、[Install] ボタンをクリックします。
- 4 登録。**
- インストーラを終了する前に **Borland product registration wizard** を起動するには、[はい] (デフォルト) を選択し、[次へ] をクリックします。登録ウィザードが別ウィンドウで起動します ([「13 ページの「Borland product registration wizard」](#)」を参照)。登録ウィザードを終了すると、インストーラの完了パネルが表示されます。
 - **VisiBroker** の評価バージョンまたは無料バージョンをインストールする場合は、登録ウィザードを起動するかどうかをたずねられません。**VisiBroker** を使用する前に、**Borland** から電子メールで受け取ったライセンスアクティベーションキーファイルを <install_dir>/license ディレクトリにコピーしてください。ライセンスアクティベーションキーファイルを受け取っていない場合、またはソフトウェアを再インストールする場合は、http://www.borland.com/products/downloads/download_bes.html にアクセスし、新しいライセンスキーをダウンロードしてください。
- 重要** 製品を使用するには、ライセンスを登録してアクティブ化する必要があります。**VisiBroker** をインストールした同じコンピュータに以前のバージョン (BES) の有効なノードライセンスがインストールされている場合、そのライセンスを新しくインストールした **VisiBroker** ソフトウェアで使用するには、lmadm コマンドラインツールを使用して以前のライセンスを移行します。**VisiBroker** のライセンスの種類については、[8 ページの「ライセンス」](#) を参照してください。
- メモ** <install_dir>/bin ディレクトリにある lmadm 実行可能ファイルを実行するか、管理コンソールの [ツール] メニューからウィザードを起動して ([『管理コンソールユーザーズガイド』の「ライセンスマネージャの使い方」](#)を参照)、ライセンスの登録とアクティブ化を後で行う場合は、[いいえ] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 5 インストールの完了後**、インストーラを閉じるには、[Done] をクリックします。

インストールログ

インストーラによって生成されるインストールログは、インストールディレクトリのルート (VisiBroker を CD からインストールした場合) またはインストーラファイルが存在するフォルダ (ダウンロードファイルを使用して VisiBroker をインストールした場合) に書き込まれます。

次は、VisiBroker のインストールログファイルです。

```
<install_dir>/Borland_VisiBroker_InstallLog.xml
```

このファイルは XML 形式のログで、エラーなどのインストールに関する情報が保存されます。

製品マニュアル

Borland VisiBroker の CD には、すべてのオンラインマニュアルのライブラリが収録されています。製品がインストールされているコンピュータでマニュアルにアクセスするには、次のいずれかの手順を実行します。

- コマンドシェルを開き、次のコマンドを入力します。

ヘルプ

help コマンドを使用するには、パスシステム変数に <install_dir>/bin ディレクトリが含まれている必要があります。または、パスを明示的に入力します。

- [ヘルプ] メニューに移動します。
- VisiBroker (スタンドアロン) コンソールの [ヘルプ] メニューに移動します。

GUI を使用しないインストーラの実行

UNIX システムでは、テキストのみのモードでインストーラを実行することができます。UI モードを指定するパラメータを使用して、インストーラを起動できます。

テキストモードでインストーラを実行するには、次の手順にしたがいます。

- 1 ディレクトリをインストール実行可能ファイルがあるフォルダに移動します。
- 2 適切なコマンドを入力します。

- **Solaris 版 CD**

```
install_solaris install -i console
```

- **Solaris 版ダウンロードファイル**

```
<install_file>.bin install -i console
```

インストーラは stdout に書き込み、stdin から読み取ります。これにより、1 つのシステムから別のシステムに telnet で接続し、インストーラをリモートに実行できます。

VisiBroker for C++ サーバー, VisiTransact, または VisiNotify ライセンス変数の設定

VisiBroker C++ サーバー, VisiTransact, または VisiNotify を実行する前に、2 つのライセンス環境変数 (BES_LIC_DIR と BES_LIC_DEFAULT_DIR) を設定する必要があります。インストール中に、これらの環境変数の設定に使用するシェルスクリプトが作成されます。

次の手順で環境変数を設定します。

- 1 コマンドウィンドウを開きます。
- 2 ディレクトリを <install dir>/bin に変更します。
- 3 使用しているシェルに適したスクリプトを特定します。

Korn または Bourne シェルを使用している場合は、次のスクリプトを使用して環境変数を設定します。

```
vbroker.sh
```

C シェルを使用している場合は、次のスクリプトを使用して環境変数を設定します。

```
vbroker.csh
```

- 4 ログインしたときに自動的にスクリプトが実行されるように、.profile, .cshrc, または .login ファイルにコマンドを追加します。

Borland product registration wizard

VisiBroker を使用する前に、受け取った製品ライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ライセンスは、Borland から、1 つ以上の Serial Number と Key がリストされた電子メールの形式で送信されるか、ライセンスキーファイルが電子メールで送信されます。

VisiBroker を新しくインストールした同じコンピュータに以前のバージョンの有効なノードライセンスがインストールされている場合、そのライセンスを新しくインストールしたソフトウェアで使用するには、lmadm コマンドラインツールを使用して以前のライセンスを移行します。VisiBroker のライセンスの種類については、[8 ページの「ライセンス」](#)を参照してください。

オンラインで購入した製品または評価のためにダウンロードした製品のキーファイルを Borland から電子メールで受け取った場合、または製品の無料バージョンをダウンロードした場合は、登録ウィザードを使用してキーファイルを適用できます。または、<install_dir>/license ディレクトリにキーファイルをコピーすると、製品を再起動したときに自動的にキーファイルが適用されます。

Serial Number と Key がある場合は、次の登録方法のいずれかを使用して VisiBroker 製品を登録し、アクティブ化できます。

- **Direct** - システムがインターネットに接続されている場合は、最も簡単な方法です。製品登録ウィザードの指示にしたがって必要な手順をすべて実行すると、自動的にライセンスをアクティブ化できます。詳細は、[23 ページの「ダイレクト登録」](#)を参照してください。
- **Email** - 電子メールアカウントを使用して任意のシステムから登録要求を送信すると、アクティベーションファイルが電子メールで送付され、それをインストールに適用できます。詳細は、[23 ページの「電子メール登録」](#)を参照してください。
- **Web page** - Borland Web サイトにアクセスして登録を行う点以外は、電子メールによる登録と同じです。詳細は、[23 ページの「Web ページ登録」](#)を参照してください。
- **Telephone** - Borland の担当者に必要な情報を伝えると、電子メールまたは郵送でアクティベーションファイルが送付されます。詳細は、[24 ページの「電話登録」](#)を参照してください。

選択した方法によっては、Borland Developer Network (BDN) アカウントを持っているかどうかをたずねられる場合があります。アカウントがない場合は、製品登録ウィザードでアカウントを作成するように求められます。

登録方法として [Direct] を選択しなかった場合は、アクティベーションファイルが送付されます。このファイルを <install_dir>/license ディレクトリにコピーすると、製品を起動したときにファイルが自動的に適用されます。

ダイレクト登録

Borland product registration wizard を使用してダイレクト登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で登録方法として [Direct] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 BDN アカウントを持っているかどうかを指定し、[Next] をクリックします。アカウントがない場合は、このウィザードでアカウントを作成するように求められます。
- 3 必要に応じて、インターネット接続のためのプロキシ設定を入力します。
- 4 要約情報を確認し、[Next] をクリックします。ウィザードは、登録の進捗状況を監視して表示します。
- 5 登録が正常に完了したら、[Next] をクリックします。次に [Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。

電子メール登録

Borland product registration wizard を使用して電子メール登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Email] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 BDN アカウントを持っているかどうかを指定し、[Next] をクリックします。アカウントがない場合は、このウィザードでアカウントを作成するように求められます。
- 3 要約情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 4 [Email Registration] 内容ペインの内容を reg@borland.com 宛の電子メールメッセージにコピーし、[Next] をクリックします。
- 5 ウィザードを閉じるには、[Finish] をクリックします。製品アクティベーションファイルが電子メールで送信されます。
- 6 アクティベーションファイルを <install_dir>/license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

Web ページ登録

Borland product registration wizard を使用して Web ページ登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Web page] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 ウィザードの Web 登録ステップに表示される登録キーをコピーし、[Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。
- 3 Web ブラウザを起動し、http://reg.borland.com にアクセスします。

- 4 登録 Web ページで BDN アカウント情報を入力し、[Login] をクリックします。アカウントを持っていない場合は、[Create account] リンク (http://reg.borland.com/srs5/new_user.jsp) をクリックします。
- 5 [Product Registration] Web ページで Serial Number と Key (登録ウィザードからコピーしたもの) を入力し、[Continue] をクリックします。
- 6 アクティベーションファイルを受け取るための電子メールアドレスを確認し、[Register] をクリックします。製品アクティベーションファイルが電子メールで送信されます。
- 7 アクティベーションファイルを <install_dir>/license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

電話登録

Borland product registration wizard を使用して電話登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Telephone] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 ドロップダウンリストから、最も近い場所を選択します。
- 3 [Next] をクリックし、次に [Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。
- 4 電話サポートの番号に電話し、手元の電話登録ウィザードの画面に表示されている情報を伝えます。
- 5 アクティベーションファイルを受け取ったら、それを <install_dir>/license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

Borland VisiBroker のアンインストール

次の手順で、Borland VisiBroker をアンインストールします。

- 1 アンインストール中にバックグラウンドで実行中のプロセス (osagent など) がないことを確認します。
- 2 Borland VisiBroker UninstallerData ディレクトリに移動します。
- 3 適切な uninstall コマンドを入力します。

CD からインストールした Solaris 版の場合

```
uninstall
```

- メモ** この作業では、インストール後に作成されたファイルやフォルダは削除されません。
- 4 uninstall コマンドの実行が終了したら、インストールディレクトリの内容を確認し、不要なファイルとサブディレクトリを削除します。
- メモ** アンインストール後に、ユーザーのホームディレクトリ (.bdp65 など) にファイルやフォルダが残ることがあります。これらのファイルも同様に削除する必要があります。

第 5 章

自動インストールによる VisiBroker のインストール (Windows と Solaris)

ここでは、自動インストールを使用して、VisiBroker を Windows と Solaris にインストールする手順について説明します。

メモ VisiBroker のインストールに関する最新のプラットフォーム情報やシステム必要条件については、<http://www.borland.com/techpubs/visibroker/platforms> を参照してください。

自動インストールの概要

自動インストールは、中規模から大規模な配布でを使用することをお勧めします。自動インストールは、複数のコンピュータにインストールするための設定を使用して、一度にインストール設定を行うために使用されます。設定ファイルを作成したら、自動インストールがユーザーとのやり取りなく実行されます。

重要 自動インストールを使用した場合は、VisiBroker のライセンス使用許諾書に同意したことになります。

インストールの準備

自動インストールを使用する前に、次の点を確認する必要があります。

- 必要なディスクスペースがあること
- インストール先のルートディレクトリに VisiBroker の既存のインストールがないこと

必要なディスクスペース

VisiBroker のインストールに必要なディスクスペースの総量は、どのコンポーネントをインストールするかによって変わります。詳細は、<http://www.borland.com/techpubs/> を参照してください。

メモ ディスクスペースには、JDK のインストール分も含まれます。

JDK

Windows では、製品とともに 1 つの JDK バージョン (JDK 1.4.2) がインストールされます。Solaris では、製品とともに JDK 5.0 だけがインストールされます。オプションの JDK プロパティ (JVM_JDK_HOME) は、ユーザーのアプリケーションコードをホストする VisiBroker コンポーネントに JDK パスを設定します。

自動インストールの場合、オプションの JVM_JDK_HOME プロパティは、デフォルトのバージョン 5.0 以外の JDK の JDK パスを設定する必要がある場合にのみ使用されます。

VisiBroker とともにインストールされた JDK 以外の JDK を使用すると、予期しない結果が生じる可能性があります。インストーラに付属する JDK を使用することをお勧めします。

重要 VisiBroker をアンインストールする前に JVM_JDK_HOME がポイントする JDK インストールを削除しないでください。アンインストーラは、JVM_JDK_HOME プロパティがポイントする JDK を使用するように設定されているため、この JDK を削除すると、アンインストーラが動作しなくなります。

自動インストールの使用

重要 同じ VisiBroker インストールディレクトリまたはファイルの場所にある以前のインストールを上書きして VisiBroker を再インストールすることはできません。最初に前のバージョンをアンインストールしてから、再インストールする必要があります。最初にアンインストールしない場合は、別のファイルの場所に再インストールする必要があります。

自動インストールプロセスを起動する前に、インストールディレクトリ、サーバー名、JDK ホームなどの環境設定のプロパティを入れるテキストファイルを作成する必要があります。各プロパティは 1 行に記述され、各行は CR で終わる必要があります。また、行末に空白があったり、ファイルの末尾に空白行があってはなりません。詳細は、[27 ページの「自動インストールに使用するプロパティファイル」](#)を参照してください。

テキストプロパティファイルを作成したら、<propertiesfile>.txt という名前で保存します。<propertiesfile> は、プロパティファイルのファイル名本体です。これで、プロパティファイルで指定した値を使用して自動インストールプロセスを起動できます。

Windows での自動インストールの起動

メモ すべてのプロパティと値は大文字と小文字が区別されます。ディレクトリとファイルのパスを指定する場合は、必ずスラッシュ (/) を使用してください。

Windows で自動インストールプロセスを起動するには、次の手順にしたがいます。

- 1 コマンドプロンプトを開きます。
- 2 http://www.borland.com/products/downloads/download_bes.html にアクセスし、VisiBroker for Windows をダウンロードします。
- 3 インストーラをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを入力して自動インストールプロセスを起動します。<propertiesfile> ファイルはフルパス名を指定してください。

```
<installer_file> -f <プロパティファイルのパス>
```

ここで、<installer_file> は **VisiBroker** インストーラファイルの名前、<プロパティファイルのパス> は <propertiesfile> ファイルのフルパスです。

たとえば、次のようになります。

```
BDP_Windows.exe -f c:/silentproperties.txt
```

- メモ** 自動インストールが完了したら、受け取った製品ライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ライセンスは、**Borland** から、1 つ以上の **Serial Number** と **Key** がリストされた電子メールの形式で送信されるか、ライセンスキーファイルが電子メールで送信されます。新しいライセンスのアクティブ化については、[13 ページの「Borland product registration wizard」](#) を参照してください。<install_dir>\bin ディレクトリにある `lmdmw` 実行可能ファイルを実行すれば、ライセンスを登録してアクティブ化できます。

Solaris での自動インストールの起動

- メモ** すべてのプロパティと値は大文字と小文字が区別されます。ディレクトリとファイルのパスを指定する場合は、必ずスラッシュ (/) を使用してください。

Solaris で自動インストールプロセスを起動するには、次の手順にしたがいます。

- 1 コマンドラインシェルを開きます。
- 2 http://www.borland.com/downloads/download_visibroker.html にアクセスし、**VisiBroker for Solaris** をダウンロードします。
- 3 インストーラ実行可能ファイルを抽出します。
- 4 インストーラを抽出したディレクトリに移動し、すべてのアクセス許可を取得して (`chmod 777`)、インストーラを実行します。
- 5 次のコマンドを入力して、自動インストールプロセスを起動します。<propertiesfile> ファイルはフルパス名を指定してください。

```
<installer_file> -f <プロパティファイルのパス>
```

ここで、<installer_file> は **VisiBroker** インストーラの名前、<プロパティファイルのパス> は <propertiesfile> ファイルのフルパスです。

たとえば、次のようになります。

```
BDP_Solaris32.bin -f /usr/home/myname/silentproperties.txt
```

または

```
BDP_Solaris64.bin -f /opt/myname/silentproperties.txt
```

- メモ** 自動インストールが完了したら、受け取った製品ライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ライセンスは、**Borland** から、1 つ以上の **Serial Number** と **Key** がリストされた電子メールの形式で送信されるか、ライセンスキーファイルが電子メールで送信されます。新しいライセンスのアクティブ化については、[22 ページの「Borland product registration wizard」](#) を参照してください。<install_dir>/bin ディレクトリにある `lmdmw` 実行可能ファイルを実行すれば、ライセンスを登録してアクティブ化できます。

自動インストールに使用するプロパティファイル

このプロパティファイルは、**VisiBroker** の自動インストールに適用されます。プロパティファイルはテキストファイルです。各プロパティは 1 行に記述され、各行は **CR** で終わる必要があります。また、行末に空白があったり、ファイルの末尾に空白行があっても構いません。プロパティは、ファイル内で任意の順序で記述できます。

重要 (Windows のみ) [Uninstall] アイコンをクリックして、自動インストールでインストールした VisiBroker のインスタンスをアンインストールすると、VisiBroker は警告なしでアンインストールされます。

表 5.1 自動インストールに使用するプロパティファイルの内容

変数	値
INSTALLER_UI	silent (必須)。インストールのモード。
USER_INSTALL_DIR	<install_dir> (必須)。選択した Borland VisiBroker 製品ディレクトリのフルパス名。 <ul style="list-style-type: none"> Windows の場合、デフォルトのインストールディレクトリは C:/Borland/BDP です。 Solaris の場合、デフォルトのインストールディレクトリは /opt/Borland/BDP です。
INSTALL_TYPE	次のタイプが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> VisiBroker Borland VisiBroker をインストールします。
USER_SHORTCUTS	<ul style="list-style-type: none"> Windows (オプション) — 製品ショートカットディレクトリのフルパス名。Windows の場合、VisiBroker のデフォルトは ../Start Menu/Programs/BES VisiBroker Edition です。 Solaris (必須) — Solaris では、値 /dev/null が必要です。
JVM_JDK_HOME	(オプション)。ユーザーのアプリケーションコードをホストする VisiBroker コンポーネントに JDK パスを設定します。デフォルトは、VisiBroker に付属する JDK がインストールされる場所に設定されます。
OSAGENT_PORT	(オプション)。デフォルトは 14000 です。
INSTALL_VBCONSOLE	(オプション) (VisiBroker Edition だけに適用) VisiBroker ORB とサービスを管理するための GUI とツールをインストールします。デフォルトは YES です。
INSTALL_VISICORE	(オプション) (VisiBroker Edition だけに適用) VisiBroker for Java and C++ 開発ツールとサーバーコンポーネントをインストールします。デフォルトは YES です。
INSTALL_DOCS	(オプション)。オンラインマニュアル一式をインストールします。デフォルトは YES です。
INSTALL_EXAMPLES	(オプション)。Borland Enterprise Server のサンプルアプリケーションをインストールします。デフォルトは YES です。
VISI_SERVICES	<p>(オプション) (VisiBroker Edition だけに適用) INSTALL_TYPE が VisiBroker の場合は、購入したすべてのオプションの VisiBroker Extended Services をインストールします。値は、次のエントリをいくつか含むコンマ区切りリストです。</p> <ul style="list-style-type: none"> VisiNotify VisiSecure VisiTime VisiTransact VisiTelcoLog <p>たとえば、VisiNotify と VisiTransact が付属する VisiBroker を購入した場合は、自動インストールの <properties> ファイルに VISI_SERVICES=VisiNotify,VisiTransact という行を入れて、追加のサービスをインストールします。</p> <p>各 Extended Service オプションについては、10 ページの「Borland VisiBroker のインストール」の手順 6 を参照してください。</p>
CONFIGURATION_SETUP	(オプション)。VisiBroker の設定例をインストールします。デフォルトは YES です。
VBROKER_SETUP	(オプション)。Windows のみ。システム変数 BES_LIC_DIR には <install_dir>/var が設定され、BES_LIC_DEFAULT_DIR には <install_dir>/license が設定されます。デフォルトは NO です。
VISICORE_FEATURES	{Java .NET} Visi for Java/C++, Visi for .NET, またはその両方のどの機能を取得するか。デフォルトは Visi for Java/C++ です。INSTALL_VISICORE=NO を指定した場合、これは無視されます。
VB_NET_MODE	{Development Client Server} Visi for .NET のライセンスモード。デフォルトは Development です。VISICORE_FEATURES に .NET が含まれない場合、これは無視されます
VB_NET_FEATURES	{Tools Add-In} ツール、アドイン、またはその両方のどの機能をインストールするか。デフォルトはツールもアドインもインストールしません。Add-In を指定すると、ツールもインストールされます。VISICORE_FEATURES に .NET が含まれない場合、これは無視されます

Windows 用の自動インストールプロパティのサンプル

この例は、VisiBroker をデフォルト以外のエージェントポートにインストールし、VisiBroker システム変数を設定します。

```
INSTALLER_UI=silent
USER_INSTALL_DIR=c:/Borland/BDP
```

```
OSAGENT_PORT=14925  
INSTALL_TYPE=VisiBroker  
VBROKER_SETUP=YES
```

Solaris 用の自動インストールプロパティのサンプル

この例は、**VisiBroker** をデフォルト以外のエージェントポートにインストールし、**VisiBroker Extended Services** をいくつかインストールします。

```
INSTALLER_UI=silent  
USER_INSTALL_DIR=/opt/Borland/BDP  
USER_SHORTCUTS=/dev/null  
OSAGENT_PORT=14925  
INSTALL_TYPE=VisiBroker  
VISI_SERVICES=VisiNotify,VisiSecure,VisiTime,VisiTransact,VisiTelcoLog
```


索引

記号

... 省略符 4
[] ブラケット 4
| 縦線 4

B

BES, インストール 10
Borland VisiBroker, UNIX でのアンインストール 24
Borland VisiBroker の再インストール 26
Borland Web サイト 4, 5
Borland 開発者サポート, 連絡 4
Borland テクニカルサポート, 連絡 4

C

CD, マウント 18
cd コマンド 18

J

Java 開発キット 18
JDK 7, 8, 18
 1.3.1, Windows コンピュータの場合 10
 1.4.2
 Linux コンピュータの場合 18
 Solaris コンピュータの場合 18
 UNIX コンピュータの場合 18
 Windows コンピュータの場合 10
Linux の必要条件 18
Solaris の必要条件 18
UNIX の必要条件 18
Windows の必要条件 10
必要条件 8
JRE の必要条件
 Linux への自動インストール 27

L

Linux
 BES の自動インストール 27
 インストールの準備 17, 18
Linux プロパティファイル, VisiBroker の自動インストール 27

P

PDF マニュアル 3

S

Solaris
 BES の自動インストール 27
 インストールの準備 17
Solaris オペレーティングシステム 18
Solaris プロパティファイル, VisiBroker の自動インストール 27

U

uninstall コマンド 24
UNIX
 インストールの準備 17
 インストールログ 21
 テキストモード 21

V

VisiBroker
 Extended Services のインストール 10, 19
 UNIX でのアンインストール 24
 UNIX へのインストール 18
 Windows でのアンインストール 15
 インストール 17
 インストールログ 12, 21
 環境変数の設定 12, 22
 登録 13, 22
 ライセンス 8, 13, 22
VisiBroker の概要 1
VisiNotify
 UNIX へのインストール 19
 Windows へのインストール 10
VisiSecure
 UNIX へのインストール 19
 Windows へのインストール 10
VisiTelcoLog
 UNIX へのインストール 19
 Windows へのインストール 10
VisiTime
 UNIX へのインストール 19
 Windows へのインストール 10
VisiTransact
 UNIX へのインストール 19
 Windows へのインストール 10

W

Web サイト
 Borland ニュースグループ 5
 ボーランド社の更新されたソフトウェア 5
 ボーランド社のマニュアル 5
Web ブラウザ 12, 21
Windows
 BES の自動インストールの起動 26
 インストールログ 12
Windows プロパティファイル, VisiBroker の自動インストール 27

あ

アクセス特権 18
アンインストール
 UNIX に 24
 Windows に 15

い

インストール 10, 18
 BES 10
 GUI を使用しない 21
 UNIX でのアンインストール 24
 UNIX での準備 17
 VisiBroker Extended Services 10, 19
 VisiBroker 製品コンポーネント 10, 19
 VisiBroker 設定例 11, 19
 VisiBroker を Linux に 18
 VisiBroker を UNIX に 18
 VisiNotify 10, 19
 VisiSecure 10, 19
 VisiTelcoLog 10, 19
 VisiTime 10, 19

VisiTransact 10, 19
Windows でのインストール 15
Windows での準備 9
カスタム 11, 19
コマンドライン 25
再インストール 26
自動モード 25
必要条件 7
標準 11, 19
プラン 7
リモート 21
インストールログ 12, 21

お

オンラインヘルプ, アクセス 12
オンラインヘルプトピック, アクセス 3

か

開発者サポート, 連絡 4
概要 1
環境変数
VisiBroker 12, 22
VisiBroker の設定 12, 22
設定値 12, 22

き

記号
省略符 ... 4
縦線 | 4
ブラケット [] 4

こ

コマンド
cd 18
uninstall 24
マウント 18
コマンド, 規約 4

さ

サポート, 連絡 4

し

自動インストール 25
JDK 26
Linux 25
Linux 向けの JRE 27
Solaris 25
Solaris BES の起動 27
Solaris 用の VisiBroker プロパティファイル 27
UNIX 用のサンプルプロパティファイル 29
Windows 25
Windows での起動 26
Windows 用の VisiBroker プロパティファイル 27
Windows 用のサンプルプロパティファイル 28
概要 25
使用 26
テキストファイル 26
必要なディスクスペース 26
プロパティファイル 26

せ

製品, Web からのダウンロード 17

製品のダウンロード 7
製品マニュアル, アクセス 12

そ

ソフトウェアの更新 5

て

テクニカルサポート, 連絡 4

と

登録, VisiBroker 13, 22
登録ウィザード 13, 22

に

ニュースグループ 5

ひ

必要なディスクスペース 8
必要なディスクスペース, 自動インストール 26

ふ

プロパティファイル, 自動インストール 26, 27

へ

ヘルプ, アクセス 12
ヘルプトピック, アクセス 3, 21

ま

マニュアル 2
.pdf 形式 3
Borland セキュリティガイド 2
PDF 21
VisiBroker for .NET 開発者ガイド 2
VisiBroker for C++ API リファレンス 2
VisiBroker for C++ 開発者ガイド 2
VisiBroker for Java 開発者ガイド 2
VisiBroker GateKeeper ガイド 3
VisiBroker VisiNotify ガイド 2
VisiBroker VisiTelcoLog ガイド 3
VisiBroker VisiTime ガイド 2
VisiBroker VisiTransact ガイド 2
VisiBroker インストールガイド 2
Web 5
Web での更新 3
使用されている表記規則のタイプ 4
使用されているプラットフォームの表記規則 4
表示 12, 21
ヘルプトピックの表示 3

ら

ライセンス, VisiBroker 8, 13, 22
ライセンス要件, Borland VisiBroker 8